



歯の動揺がひどいので今まで行っていた歯科医では「抜歯しかない」と言われました。排膿もひどくグラグラでした。

(図①)



いったん、抜いた歯(図②)の歯石や汚れをライトタッチレーザーできれいに歯石と汚れを取って殺菌し、再び埋入しました。(図③)

(図②) 2018.8.20 (図③)



2017.11.2



2019.1.10

排膿もひどくグラグラしていた歯がすべて改善しきれいなピンク色の歯肉になりました。



2017.10.28



2019.1.29

左のエックス線写真でわかりますが、抜いた歯の周りに歯槽骨の回復が確認できます。術後(2018.8.20)5か月でここまで歯槽骨が再生しました。

ライトタッチの再植治療

●患者：38歳 女性

再植治療には、歯の根の部分にある歯根膜組織が歯根の表面残っていること、損傷していないこと、汚染されていないことが必要です。普通、今回の患者さんのように、神経が死んでおり歯の根っこの周りの骨が完全に吸収され(図①)排膿もひどいなど悪条件が多い症例では再植治療を行うことは出来ません。しかし、当医院ではライトタッチレーザーを使って、抜いた歯の周りの歯石を取り除き、きれいに殺菌できるので、このように歯根面が汚れて歯根膜がほとんどない症例でも歯の再植が可能になりました。このような治療を可能にしたのもしっかりしたライトタッチレーザーの治療理論があったからです。

この症例以外にも数々の不可能な治療を可能にするライトタッチレーザーに感謝しています。

提供：医療法人宏和会 池尻歯科医院(大阪市東三国)